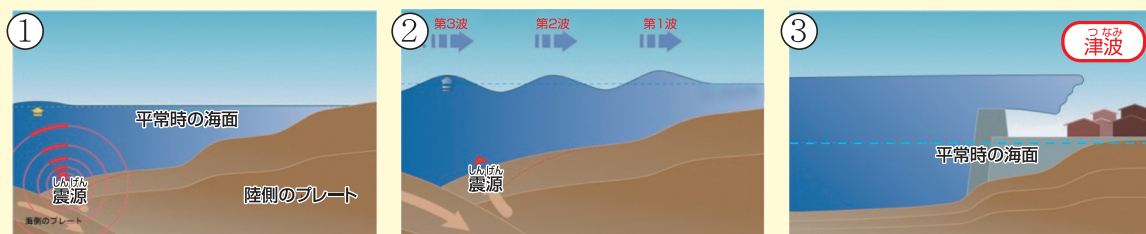


2 つなみ 津波について知ろう

つなみ 津波は、どうして起こるの？～つなみ 津波の起きる仕組み～



- ①地震によって、海ていが動くと、その動きが海めんに伝わります。
- ②大きな波が生まれ、次々にまわりに広がっていきます。
- ③海岸近くは浅くなるので、波がさらに高くなります。津波は、第1波、第2波と、くり返しおそってきます。

つなみ ○ 津波はいつ来るの？

津波は、地震が起きてから、すぐに来ることもあれば、しばらくたってから来ることもあります。ですから、津波けいほう中は避難を続けるひつようがあります。

2010年にチリで地震が起きたとき、石巻に津波が来たのは、丸一日が経ってからでした。



つなみ ○ 津波が来る前のサインは？

大きな津波が来る前に、一度水が沖に引いていくことがあります(引き波)。しかし、引き波がなく、いきなり高い津波が来ることもあります。ですから、できるだけ早く、高い場所に避難することがひつようです。

また、海や川の様子を見に近づくことは、ぜったいにさけ、できるだけ早くはなれましょう。



つなみ ○ 津波の高さはどれくらい？

津波は、せまい場所では高くもり上がり、海岸よりも陸に上がってからのほうが高くなる場合があります。しゃ面では、津波がかけ上がり、さらに高くなります。アラスカでは、1958年に500メートルをこえる津波がおそいました。



○ 津波^{つなみ}がくることに気づいたら？

できるだけ早く高い場所や津波避難ビルなどに避難します。より早く、より高い場所へ避難することが大切です。また、津波^{つなみ}に気づいたら、大きな声で「津波だ!」とみんなに知らせるようにしましょう。



○ 川には津波^{つなみ}が来る？

津波^{つなみ}は、海から川に入りこみ、さかのぼります。川はばがせまいところで高さをましたり、橋をこわしたりすることがあります。ですから、津波^{つなみ}のときは、海はもちろん、川からもはなれて、避難^{ひなん}します。

データ3・11
津波^{つなみ}は、北上川をさかのぼり、岩手県境（河口から49 km）でも水位の変化がありました。

○ 「津波けいほう」^{つなみ}とは？

津波^{つなみ}のおそれがあるとき、気しょう庁^{ちよう}から、津波けいほう^{つなみ}が出されます。すると、テレビやラジオ、防災無線^{ぼうさいむせん}などで、市や町全体に知らされます。津波^{つなみ}の高さは予想^{よそう}なので、もっと高い津波^{つなみ}が来るおそれもあります。また、予想^{よそう}する高さが、変わることもあります。津波^{つなみ}の予想^{よそう}がひくいからといって油だんすることなく、けいほうをよく聞いて行動することが大切です。

しゅるい	予想 ^{よそう} される波の高さ
大津波けいほう ^{つなみ}	3 mを超える
津波けいほう ^{つなみ}	1 m～3 m
津波注意ほう ^{つなみ}	1 m以下

データ3・11
14:49 大津波けいほう^{つなみ}（宮城県）
「予想^{よそう}される津波^{つなみ}の高さ6m」
15:14 大津波けいほう^{つなみ}
「予想^{よそう}される津波^{つなみ}の高さ10m以上」
3月12日 20:20 津波けいほう^{つなみ}に変わる
3月13日 7:30 津波注意ほう^{つなみ}に変わる
17:58 解除^{かいじよ}

このマークに注意！



津波^{つなみ}注意

地震^{しん}のとき、津波^{つなみ}のきけんがある場所。地震^{しん}のゆれを感じたら、すぐに避難^{ひなん}すること。



津波避難場所^{つなみひなんばしよ}

津波^{つなみ}のときの避難場所^{ひなん}。

ただし、避難場所^{ひなん}にいるからといって安心してはいけません。次の避難場所^{ひなん}を考え、情報^{じようほう}を良く聞いて行動しましょう。



津波避難ビル^{つなみひなんビル}

みやぎけん
宮城県は、令和4年5月に
みやぎけん つなみしんすいそうてい
「宮城県津波浸水想定」を公表
しました。

自分が住む地域^{ちいき}のハザードを
かくにん
確認し、命を守る行動について
考えてみましょう。

ちいき つなみしんすいそうていず
【地域の津波浸水想定図
を見てみよう】➡

